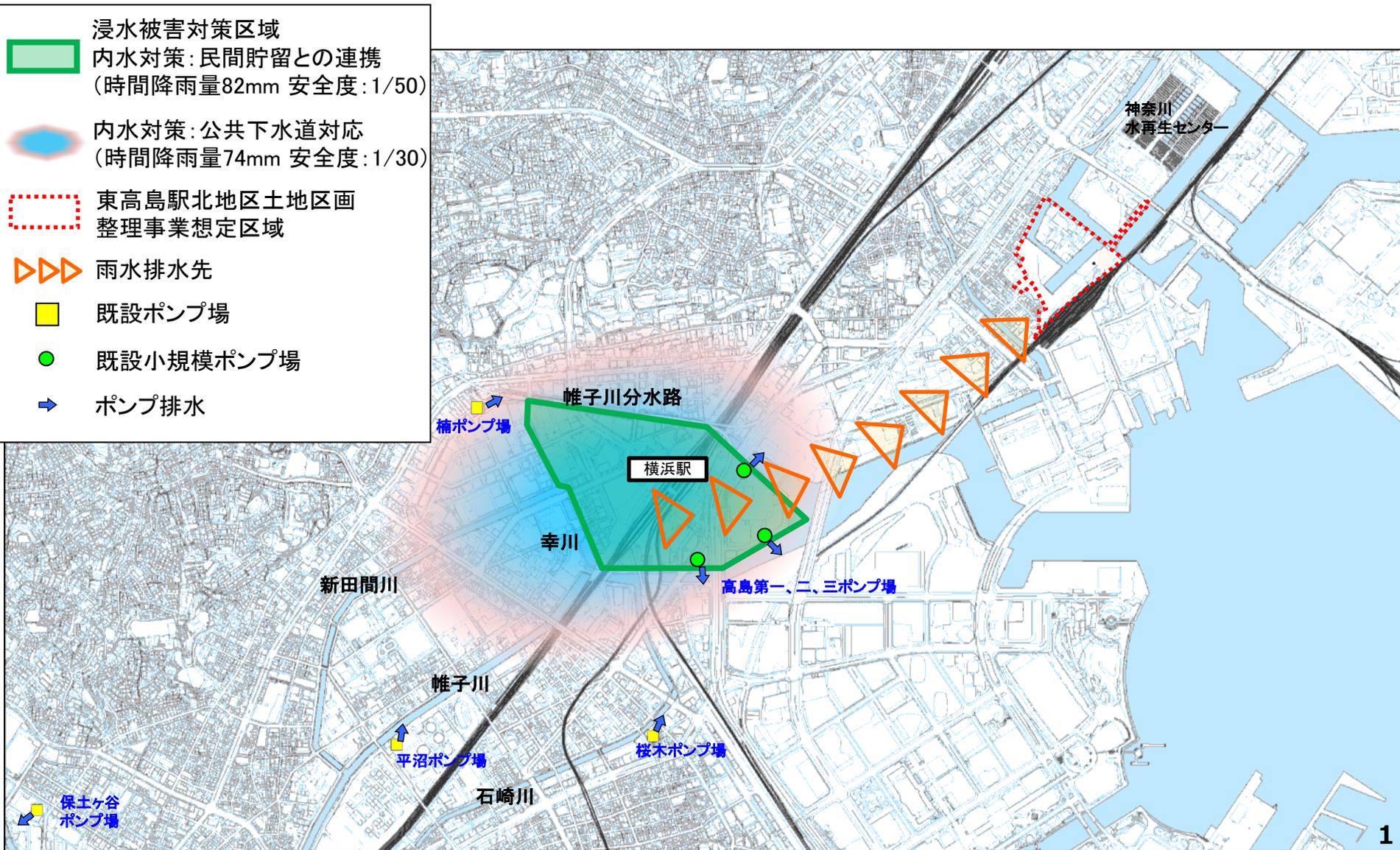


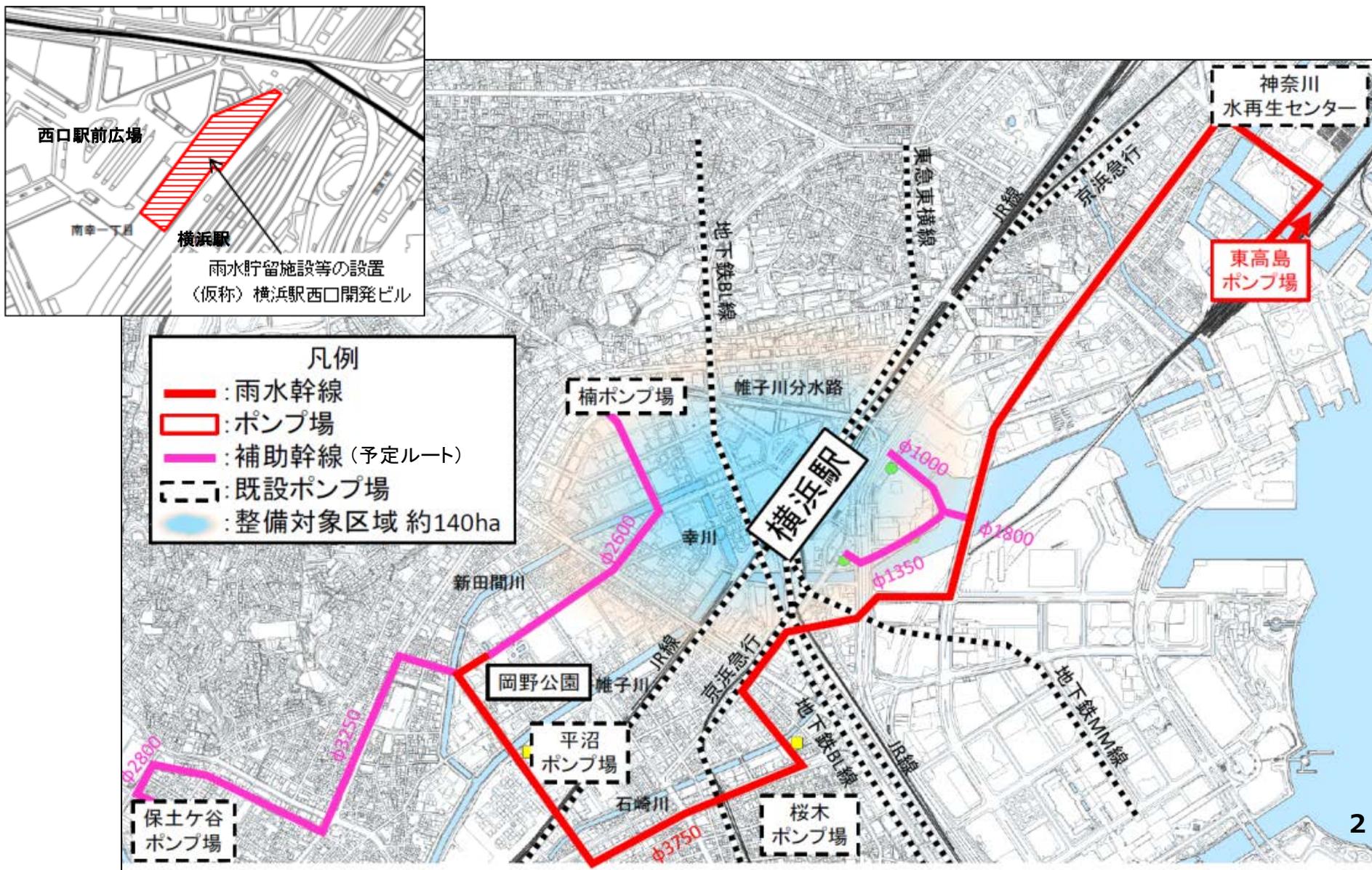
横浜駅周辺の浸水対策事業

(仮称) 神奈川処理区横浜駅周辺雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業



横浜駅周辺の浸水対策事業

(仮称) 神奈川処理区横浜駅周辺雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業



横浜駅周辺の浸水対策事業

水位周知下水道に関する取組み

○平成27年に水防法が改正され、内水浸水に係る下水道の水位情報の通知・周知制度(第13条の2)、想定される最大規模降雨に対応する浸水想定区域制度(第14条の2)等が創設された。

都道府県知事または市町村長が指定した水位周知下水道施設(第13条の2)の水位情報の通知・周知制度

水位情報の伝達イメージ

時間軸

集中豪雨

内水氾濫危険水位
(情報を発信する基準水位)
到達

横浜市

地下街管理者等

被害の回避

内水浸水発生

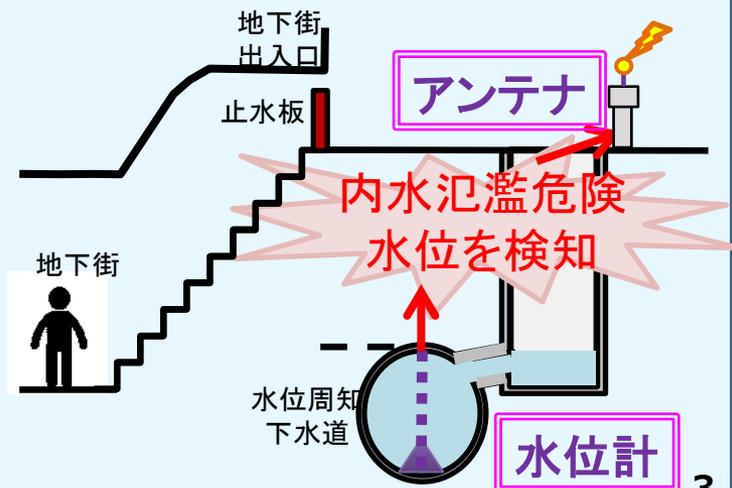
浸水被害発生

水位周知下水道の目的

- 内水浸水に係る水位情報を提供
- 甚大な被害を回避する

水位周知による効果

大雨時の浸水を予測し、地下街利用者や事業者に情報を提供し、被害を回避する。



横浜駅周辺の浸水対策事業

水位周知下水道に関する30年度の取組み

- ▶ 平成29年度、横浜駅西口に水位計を4箇所設置。水位計測の継続実施中
- ▶ 水位データを蓄積し、シミュレーションを用いて雨水の挙動解析、計測機器の精度・特性、設置箇所 の妥当性などを検討
- ▶ 併せて防災部局、地下街管理者への周知および役割分担等、順次、協議調整を進める

